



2021年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月10日

上場会社名 オプテックスグループ株式会社
 コード番号 6914 URL <https://www.optexgroup.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 小國 勇

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼CFO (氏名) 大西 浩之

TEL 077-527-9861

四半期報告書提出予定日 2021年5月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	10,974	24.7	1,326	139.0	1,582	161.8	1,057	197.0
2020年12月期第1四半期	8,801	5.2	555	24.2	604	14.2	356	28.7

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 1,694百万円 (%) 2020年12月期第1四半期 84百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	29.24	29.10
2020年12月期第1四半期	9.85	9.82

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	49,761	33,792	67.4
2020年12月期	47,390	32,625	68.4

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 33,559百万円 2020年12月期 32,402百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期		15.00		15.00	30.00
2021年12月期					
2021年12月期(予想)		15.00		15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,000	14.2	1,000	27.7	1,150	31.8	700	19.4	19.36
通期	40,000	14.8	3,000	43.0	3,200	47.0	2,200	57.7	60.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期1Q	37,735,784 株	2020年12月期	37,735,784 株
期末自己株式数	2021年12月期1Q	1,570,480 株	2020年12月期	1,572,800 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期1Q	36,163,494 株	2020年12月期1Q	36,140,375 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・決算補足説明資料につきましては、決算発表後一週間以内に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「ベンチャースピリット溢れる企業集団を目指す。」を企業理念とし、グループ本社機能強化により、グループ全体の間接コスト増加を抑制し、既存事業の拡大・新規事業の推進により、再び成長軌道に乗せることを経営方針としております。

本年度の重点施策としましては、「シェアードサービス体制を目指し、グループ間の相互連携強化と体制整備」、「既存事業の原価率低減、経費削減及びビジネスモデル変革」、「行動変革による一人当たりの生産性の向上」の3点を強力に推し進め、更なる企業価値の向上を図っております。

当第1四半期連結累計期間は、既存主力事業の伸長及び新規事業会社の連結効果等により、売上高は109億74百万円と前年同期に比べ24.7%の増収となりました。利益面につきましても、売上高の伸長に伴い売上総利益が増加し、販売費及び一般管理費の増加を大きく上回ったため、営業利益は13億26百万円（前年同期比139.0%増）、経常利益は為替差益の増加等により15億82百万円（前年同期比161.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、10億57百万円（前年同期比197.0%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しております。以下の前年同期比較については、変更後のセグメント区分に組み換えた数値で比較しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報)」の「3. 報告セグメントの変更に関する事項」に記載しております。

① S S事業

S S事業は、売上高48億98百万円（前年同期比8.0%増）、営業利益は6億96百万円（前年同期比87.9%増）となりました。

防犯関連は、売上高は32億73百万円（前年同期比6.9%増）となりました。海外におきましては、ヨーロッパでの屋外用センサーの販売が順調に推移した結果、前年同期実績を上回りました。国内におきましても、警備会社向け及び大型重要施設向けの販売が順調に推移した結果、前年同期実績を上回りました。

自動ドア関連は、海外向けの販売が伸び悩んだものの、国内向けの販売が順調に推移した結果、売上高は10億89百万円（前年同期比4.6%増）となりました。

② I A事業

I A事業は、売上高58億6百万円（前年同期比43.5%増）、営業利益は、7億35百万円（前年同期比118.3%増）となりました。

F A関連は、売上高は21億6百万円（前年同期比34.8%増）となりました。国内向けの販売は、前年並みで推移したものの、海外向けの販売は、ヨーロッパ及び中国向けが大幅に増加いたしました。

M V L関連は、売上高は27億22百万円（前年同期比9.6%増）となりました。国内向けの販売は、前年並みで推移したものの、海外向けの販売は、アジア向けを中心に大幅に増加いたしました。

I P C関連は、売上高は9億77百万円となりました。なお、当第1四半期連結会計期間より、2020年12月に連結子会社化したサンリツオートメーション株式会社を、I A事業のI P C関連として新たに追加しております。

※ I P C : Industrial PC (産業用コンピュータ)

③ E M S事業

E M S事業における外部顧客への売上高は、生産受託案件の増加により1億56百万円（前年同期比59.4%増）となりました。営業利益につきましてもグループ内製品の製造量が増加した結果、22百万円（前年同期は57百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は497億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億70百万円増加しました。

流動資産は350億95百万円となり、20億28百万円増加しました。これは主に、売上高の増加により受取手形及び売掛金が11億46百万円、現金及び預金が3億64百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は146億65百万円となり、3億42百万円増加しました。これは主に、償却等によるのれんや顧客関係資産等の無形固定資産が1億34百万円減少したものの、建物及び構築物や建設仮勘定等の有形固定資産が4億9百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は159億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億3百万円増加しました。これは主に、支払手形及び買掛金が7億20百万円、未払法人税等が2億49百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は337億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億67百万円増加しました。これは主に、為替換算調整勘定が5億95百万円、利益剰余金が5億17百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経営成績は、SS事業のヨーロッパ向けやIA事業の国内及びアジア向けなどの販売が好調に推移し、想定を上回る好業績となりました。しかしながら、今後の事業環境においては、当社グループの製品製造に使用する半導体部品の調達難や新型コロナウイルス感染症の経済活動等への影響が懸念されます。従いまして、当連結会計年度の業績見通し(第2四半期累計および通期)は、2021年2月12日に公表いたしました予想から変更はありませんが、今後開示すべき事由が発生した際には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,583	14,948
受取手形及び売掛金	8,305	9,451
有価証券	200	256
商品及び製品	3,475	3,329
仕掛品	1,356	1,348
原材料及び貯蔵品	3,487	3,995
未収還付法人税等	270	409
その他	1,430	1,401
貸倒引当金	△42	△44
流動資産合計	33,067	35,095
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,519	2,784
機械装置及び運搬具(純額)	249	258
工具、器具及び備品(純額)	770	758
土地	2,410	2,423
建設仮勘定	217	350
有形固定資産合計	6,167	6,576
無形固定資産		
特許権	446	425
商標権	488	471
顧客関係資産	791	755
のれん	1,240	1,192
その他	775	763
無形固定資産合計	3,742	3,608
投資その他の資産		
投資有価証券	1,947	1,907
長期貸付金	338	360
繰延税金資産	1,465	1,555
その他	693	689
貸倒引当金	△31	△31
投資その他の資産合計	4,413	4,481
固定資産合計	14,323	14,665
資産合計	47,390	49,761

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,961	2,682
短期借入金	6,042	6,011
1年内返済予定の長期借入金	378	380
未払金	950	750
未払法人税等	421	671
賞与引当金	444	595
その他	1,221	1,504
流動負債合計	11,421	12,595
固定負債		
長期借入金	232	168
繰延税金負債	759	742
再評価に係る繰延税金負債	22	22
退職給付に係る負債	1,289	1,281
役員退職慰労引当金	244	158
その他	794	998
固定負債合計	3,343	3,373
負債合計	14,765	15,968
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,798	2,798
資本剰余金	7,581	7,580
利益剰余金	24,871	25,389
自己株式	△2,598	△2,594
株主資本合計	32,652	33,173
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20	48
土地再評価差額金	△5	△5
為替換算調整勘定	△233	361
退職給付に係る調整累計額	△31	△18
その他の包括利益累計額合計	△249	385
新株予約権	214	224
非支配株主持分	8	9
純資産合計	32,625	33,792
負債純資産合計	47,390	49,761

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	8,801	10,974
売上原価	4,033	5,166
売上総利益	4,767	5,808
販売費及び一般管理費	4,212	4,482
営業利益	555	1,326
営業外収益		
受取利息	7	6
受取配当金	6	1
投資有価証券売却益	—	10
投資事業組合運用益	1	5
為替差益	31	101
受取賃貸料	4	6
補助金収入	3	126
その他	22	17
営業外収益合計	77	274
営業外費用		
支払利息	2	9
売上割引	5	5
投資有価証券評価損	2	—
賃貸費用	3	2
持分法による投資損失	10	0
その他	4	1
営業外費用合計	28	19
経常利益	604	1,582
特別利益		
固定資産売却益	0	2
特別利益合計	0	2
特別損失		
固定資産除売却損	0	6
特別損失合計	0	6
税金等調整前四半期純利益	604	1,578
法人税、住民税及び事業税	244	637
法人税等調整額	5	△117
法人税等合計	249	520
四半期純利益	355	1,057
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	356	1,057

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	355	1,057
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△112	27
為替換算調整勘定	△329	596
退職給付に係る調整額	1	12
その他の包括利益合計	△439	636
四半期包括利益	△84	1,694
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△83	1,692
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

1. 前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	SS事業	IA事業	EMS事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	4,537	4,046	98	8,681	119	8,801	—	8,801
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	16	2	1,581	1,599	7	1,607	△1,607	—
計	4,553	4,048	1,679	10,281	126	10,408	△1,607	8,801
セグメント利益又 は損失(△)	370	337	△57	650	△5	644	△89	555

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、ソフトウェア開発及びスポーツクラブの運営等の事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△89百万円には、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	SS事業	IA事業	EMS事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	4,898	5,806	156	10,861	113	10,974	—	10,974
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	19	0	2,143	2,163	7	2,170	△2,170	—
計	4,917	5,806	2,300	13,025	120	13,145	△2,170	10,974
セグメント利益又 は損失(△)	696	735	22	1,454	△18	1,436	△109	1,326

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、ソフトウェア開発及びスポーツクラブの運営等の事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△109百万円には、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

事業管理区分の変更に伴い、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントを変更し、従来の「SS事業」「FA事業」「MVL事業」「EMS事業」の4区分から、「SS事業」「IA事業」「EMS事業」の3区分に変更しております。

また、報告セグメントごとの経営成績をより適切に評価するため、当社からの経営指導料は各セグメントへの配賦を行わずにセグメント利益の調整額に「全社費用」として計上する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

変更後の各報告セグメントの主な製品群及びサービスは次のとおりであります。

セグメントの名称	主な製品群及びサービス
SS (Sensing Solution) 事業	防犯関連、自動ドア関連、水質計測関連、 客数情報システム、電子部品の開発及び販売
IA (Industrial Automation) 事業	ファクトリーオートメーション関連、 画像処理用LED照明装置関連、 産業用コンピュータ関連
EMS (Electronics Manufacturing Service) 事業	電子機器受託生産サービス